

記入例

福岡県古賀市

プロの指導で子どもたちの泳力向上！まちのプールをみんなでシェア

取組主体：福岡県古賀市

2023年7月より、全国で先駆けて、全ての小・中学校で水泳授業を民間委託を開始。

子どもたちの泳力向上に加え、これまで1校に1つのプールを維持するためにかけてきた資源（人、もの、施設、それらを維持するお金など）を複数の学校でシェアすることで、教師の負担軽減（働き方改革）や、財政負担の軽減につなげることを目的としている。

課題
や現状



- 市政運営上の大きな柱の一つに「チルドレン・ファースト」を掲げている。
- 2019年度からの教員の働き方改革推進の一環として、学校行事のスリム化を進めている。
- 学校プール施設の長期的な維持管理費や更新（建て替え）の課題があった。
- 2008～2014年度、市内の青柳小学校で民間委託を実施し、教育効果を確認できたが、授業時数確保の点で課題があり終了していた。

解決策や
アイデア



- 専門技術を有するインストラクターが指導することにより、児童生徒の泳力向上が期待できる。
- 屋内プールで実施することにより、季節や天候に左右されることがなく、計画的に授業が実施できる。
- 授業前後の水量の管理、水質のチェック、危険箇所の点検や清掃など、教員が担っていた維持管理に係る負担を軽減することができる。
- 各校舎の設備維持にかかる経費の負担を軽減することができる。

取組状況
や成果

- 開始以前から、市内外から関心を寄せていただいている。
- 泳力向上や、より安心・安全な教育環境の提供ができるため、親御さんからも満足の声が寄せられている。
- 校舎の教室から出て、街の中に出る機会が、子どもたちにとって刺激になっている。
- 市の試算では、今後50年間でかかる各学校プール施設の維持費用の半分以下の費用に抑えることができている。

取組の詳細

【取り組みの様子】

子どもたちは、普段授業を受ける校舎から、バスでプール施設へ移動する。屋内プールのため、市内11小・中学校、70～100名の児童生徒が、年間を通して計画的に1コマ（50分）の授業を受けることができる。全体監視員も含め9人のインストラクターが指導にあたるため、より安心・安全に授業を受けることができる。



持続可能な取り組みとするためのポイント

- 専門技術を有するインストラクターが指導することにより、泳力向上に加え、より安心・安全な教育環境の提供ができる。
- 施設維持にかかる負担など、教員負担を軽減したことにより、働き方改革が進んだ。
- 市の試算では、今後50年間でかかる各学校プール施設の維持費用は5千万円を超えるが、この取り組みにより、その半分以下の費用に抑えることができている。
- 全小中学校が同じ施設で授業を受けるため、各学校の生徒数に多少の偏りや変動があっても、施設維持や授業の継続がしやすい。

付記（任意）

- 古賀市における市政運営上の大きな柱の一つ「チルドレンファースト」の推進を主な目的としているが、結果的に市民、企業、行政などが力を出し合う「シェア」の取り組みとなった。「シェア」の発想で、古賀市民一人ひとりの未来よりよくする取り組みを進めていきたい。